

# (5) 「1人1台端末」を活用した取組

## <各学校の取組の特徴>

- 「1人1台端末」を活用することにより、見通す・振り返る活動や、話し合う活動の充実などを通して、児童生徒が自己の課題を明確にしながる取組を進められるようにしています。



(5) 1人1台端末を活用した取組		
ページ	学校名	取組の名前
1	湖畔小学校	クロームブックの活用
	清明小学校	1人1台端末を活用した取組
2	遠矢小学校	ICTを活用した授業改善
	鶴居小学校	動画教材を活用した授業
3	共栄中学校	体育スキルアップチャレンジ
	美原中学校	Chromebookを活用して主体的な学びへ～ カメラ機能を活用した技能向上の取組
4	富原中学校	ICTを活用したグループ協議・振り返りの設定
	真龍中学校	タブレット(iPad)を有効活用した体育授業
5	散布中学校	散布 2020 目指せ金メダル！男女混合団体器械体操
	標茶中学校	イメージと動きのズレを改善！
6	弟子屈中学校	QUP(クオリティーアップ)チャレンジ
	釧路鶴野支援学校	とびばこチャレンジ



### 「クロームブックの活用」

校長名：秦 直人 児童数：338名（男子179名 女子159名）



【これまでの課題】  
 ・自分の動きの分析

【実施した取組】  
 ・試技後、児童が自身の動きを撮影した動画を見直す時間を確保し、着眼するポイントを具体的に示しました。

【見られた成果】  
 ・自身の動きをタブレットで確認し、改善点を自分で見つけることができました。

【取組のポイント】  
 ・タブレットの活用場面を、各学年の発達の段階に応じて設定しました。

### 「1人1台端末を活用した取組」

校長名：高橋 知毅 児童数：354名（男子167名 女子187名）



【これまでの課題】  
 ・知識と技能を結び付ける活動の工夫・改善

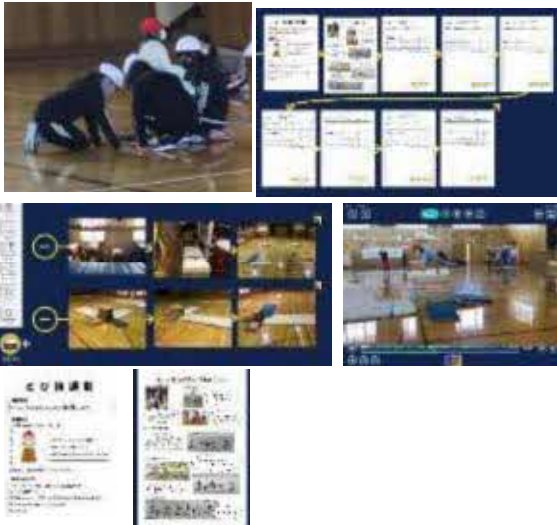
【実施した取組】  
 ・体育授業の導入時に、運動のポイントを知識として共有するために、1人1台端末を活用しました。  
 ・体育授業の展開時に、自身の動きを確認したり、手本動画との比較を行ったりするために、1人1台端末を活用しました。

【見られた成果】  
 ・運動のコツと、視覚化された自身の動きとを照らし合わせ、改善点を見つけたり、自身の動きを調整しようとしていた児童が増えました。

【取組のポイント】  
 ・体育授業における児童の運動量を確保するため、ICT活用のねらいを明確にし、単元計画を作成しました。

### 「ICTを活用した授業改善」

校長名：遠藤浩一 児童数：167名（男子89名 女子78名）



【これまでの課題】

- ・ 体育授業の時間配分
- ・ 体育授業における児童の運動量の確保

【実施した取組】

- ・ ICTを活用して資料を提示しました。
- ・ ペアで動画を撮影し、それを見合ったり、手本となる動画と見比べたりしながら話し合いました。

【見られた成果】

- ・ 準備の時間が短縮され児童の運動量を確保できました。
- ・ 自分の動画と手本の動画を見比べたり、自分に必要な資料を参考にしたりしたことで、自ら適切な学習課題を設定することができました。

【取組のポイント】

- ・ 教師の指示や説明、動画等の資料、振り返りシートをロイロノートで提示しました。

### 「動画教材を活用した授業」

校長名：田中敏行 児童数：65名（男子30名 女子35名）



【これまでの課題】

- ・ 単元の導入における、ゲーム型の競技のイメージの不足

【実施した取組】

- ・ 1人1台端末を活用し、手本動画や作戦例をいつでも見られるようにしました。
- ・ 手本から運動のコツを探せるようにしました。
- ・ ゲーム型の単元の導入に、ゲーム例を見せました。

【見られた成果】

- ・ 児童がゲーム型の競技のイメージをもつことにより、児童の運動量を確保することができました。

【取組のポイント】

- ・ ICTの活用場面を、意図的・計画的に設定しました。

「体育スキルアップチャレンジ」

校長名：伊藤 晃一 生徒数：256名（男子123名 女子133名）



【これまでの課題】  
 ・自身の動きの分析

【実施した取組】  
 ・1人1台端末を活用し、技能の向上と分かる・できる・楽しい体育授業づくりを目指しました。

【見られた成果】  
 ・技能の向上を目指すことにより、周囲と交流する場面が増え、意欲的に取り組む姿が増えました。

【取組のポイント】

- ・一斉指導の場面では、見本となる図や動画を共有することにより、生徒が動きのイメージをもてるようにしました。
- ・個別指導の場面では生徒の動画を撮影することで、改善点を指導できるようにしました。

「Chromebookを活用して主体的な学びへ～カメラ機能を活用した技能向上の取組」

校長名：佐藤 英樹 生徒数：173名（男子70名 女子103名）



【これまでの課題】  
 ・生徒が自身の動きを自己分析をする機会の設定

【実施した取組】  
 ・1人1台端末を活用して、友だちに動きを撮影してもらい、自己の課題を見つけて改善を図る取組を行いました。  
 ・見本となる動画をロイロノートの資料箱に入れ、いつでも誰でも見本動画を見られるようにしました。

【見られた成果】  
 ・1人1台端末を活用することにより、技能の向上に向けて、主体的に取り組む姿が見られるようになりました。

【取組のポイント】

- ・事前に、被写体を撮影する方向や角度等の撮影する際の視点と、踏み切りや着手の位置等の動画を観る視点を提示しておくことにより、生徒が課題を見いだしやすくなりました。
- ・撮影する時間と動画を視聴する時間を明確にすることで、課題改善のための運動時間を確保しました。

## 「ICTを活用したグループ協議・振り返りの設定」

校長名：水野 秀 哲 生徒数：263名（男子132名 女子131名）



### 【これまでの課題】

- ・生徒の運動能力の差
- ・運動の苦手な生徒が運動を楽しむための工夫

### 【実施した取組】

- ・ICTを活用し、より客観的に自身やチームの動きを確認できるようにしました。
- ・動画を視聴しながらグループで協議し、運動中には気付かなかった自身やチームの課題が発見できるように促しました。

### 【見られた成果】

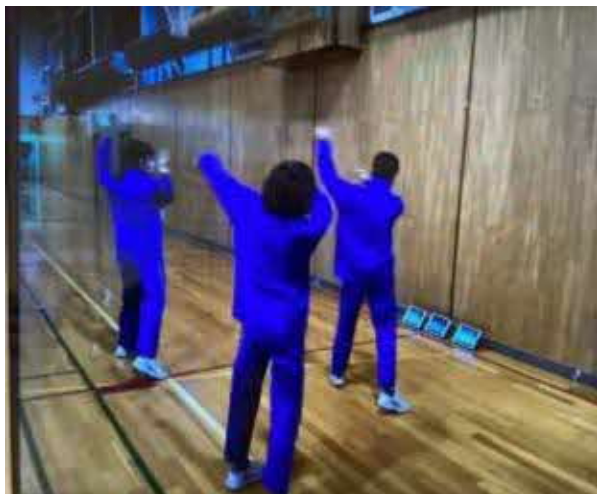
- ・運動が苦手な生徒も自分が「どのように動けばよいか」を考えながらゲームに取り組んでいる様子が見られました。

### 【取組のポイント】

- ・協働して課題を発見し、改善に向けて取り組むことができるよう、単元の学習活動を工夫しました。
- ・自分たちの動きを確認しながら振り返りを行い、次の学習の見通しや新たな課題を見つけ、主体的な学習に繋がられるようにしました。

## 「タブレット（iPad）を有効活用した体育授業」

校長名：佐藤 敬 喜 生徒数：123名（男子62名 女子61名）



### 【これまでの課題】

- ・体育授業における、生徒自身の適切な課題設定

### 【実施した取組】

- ・器械運動において、自身の技を撮影し、撮影した動画から自身の課題を見付け、技の改善に繋がりました。
- ・ダンスにおいて、動画教材をiPadで各自が自由に視聴できるようにしました。

### 【見られた成果】

- ・器械運動では自身の技の課題を見付け、改善に繋がやすくなりました。ダンスでは自身の苦手なところを集中的に練習でき、技能の習得に繋がりました。

### 【取組のポイント】

- ・生徒にiPad活用の有効性を伝え、進んで活用するようにしました。

「散布2020目指せ金メダル！男女混合団体器械体操」

校長名：大 和 洋 一 生徒数：16名（男子6名 女子10名）



【これまでの課題】

- ・器械運動に対する苦手意識
- ・協働的な学び

【実施した取組】

- ・技を得点化し、マット運動・平均台運動・跳び箱運動の技で団体戦を実施しました。
- ・1人1台端末を活用し他者の動きにアドバイスする時間を設けました。

【見られた成果】

- ・苦手意識のある生徒も、自身で種目や役割を選ぶことができたため意欲的に参加することができました。
- ・他者にアドバイスすることにより、生徒の思考力が高まりました。

【取組のポイント】

- ・動きを理解して体を動かすことを意識させるために、1人1台端末を活用し、動きのポイントを具体的な言葉で表現するようにしました。

「イメージと動きのズレを改善！」

校長名：湊 谷 美樹治 生徒数：168名（男子81名 女子87名）



【これまでの課題】

- ・話し合い活動の活性化
- ・運動の苦手な生徒を含めた協働的な学び

【実施した取組】

- ・運動を映像として記録化することにより、自分の姿を客観的に分析するための取組をしました。
- ・優れた点や改善点を共有することにより、お互いが自分ごととして捉えるための取組をしました。

【見られた成果】

- ・目的や課題をもって取り組む姿が見られました。
- ・技能と記録の向上が見られました。

【取組のポイント】

- ・生徒自身が1人1台端末を操作することにより、より自分ごととして課題と向き合える環境づくりをしました。

## 「QUP（クオリティーアップ）チャレンジ」

校長名：成瀬 剛 慈 生徒数：138名（男子60名 女子78名）



### 【これまでの課題】

- ・体育授業における生徒の主体性
- ・自身や仲間の課題の設定

### 【実施した取組】

- ・ロイロノートを用いて、授業資料を配付するとともに、仲間の課題に対するアドバイスをデータで送り合いました。
- ・タブレットで自身の動作を動画で撮影しました。

### 【見られた成果】

- ・自身の課題が明確になり主体的に取り組む生徒が増えました。

### 【取組のポイント】

- ・撮影した映像により、自身の動作を確認できるようにしました。
- ・データ提出により個のつまずきを把握するとともに、つまずきに応じた指導や支援に重点を置きました。

## 「とびばこチャレンジ」

校長名：北嶋 公博 児童数：7名（男子3名 女子4名）



### 【これまでの課題】

- ・体育授業における主体性

### 【実施した取組】

- ・iPadで撮影した動画をコマ送りで再生しながら体の使い方を分析しました。
- ・動画を活用することにより、運動中の感覚とイメージを一致させました。

### 【見られた成果】

- ・動画の活用により開脚跳び、閉脚跳びのポイントを意識させることができました。
- ・主体的に動きの改善に取り組む姿が見られました。
- ・児童同士が、互いの動きのポイントを伝え合う姿が見られました。

### 【取組のポイント】

- ・動画を活用することにより、自身の変容に気付き、運動に対する意欲が向上するようにしました。
- ・課題や改善方法について、交流する機会を設定しました。